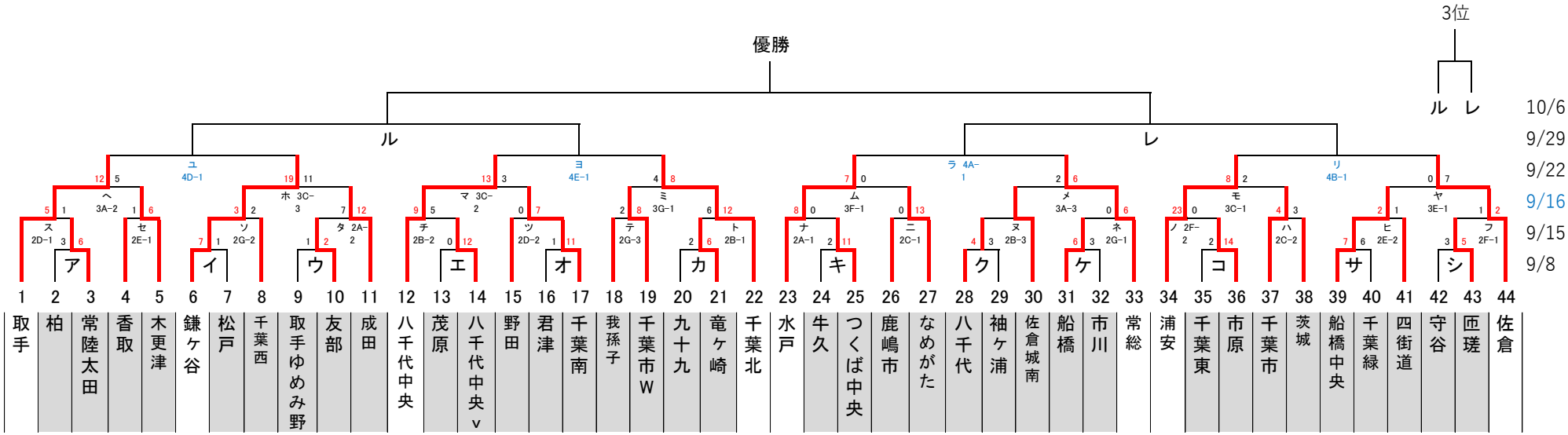
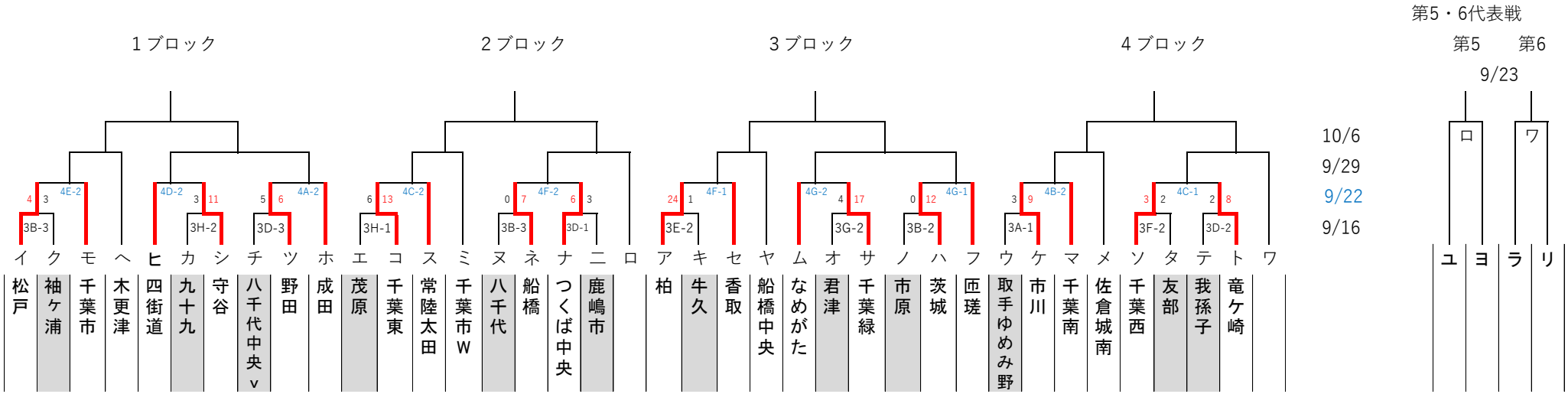
2024年　王道家杯東関東支部秋季大会



9月22日グランド　Aノーブルホーム水戸　B佐倉　C竜ケ崎KK　D取手　E千葉北　F柏　Gなめがた

敗者復活戦



3回戦　　9月16日　　結果

グラウンド	第1試合				第2試合				第3試合			
A	ウ			ケ	1			5	30			33
藤代球場	取手ゆめみ野	3	－	6	市川	取手	12 － 5	木更津	佐倉城南		－	常総
B	イ			ク	ノ			ハ	ヌ			ネ
八千代運動　公園野球場	松戸	4	－	3	袖ヶ浦	市原	0 － 12	茨城	八千代	0	－ 7	船橋
C	34			37	12			17	6			11
浦安市硬式野球場	浦安	8	－	2	千葉市	八千代中央	13 － 3	千葉南	鎌ヶ谷	19	－ 11	成田
D	ナ			ニ	テ			ト	チ			ツ
竜ケ崎	つくば中央	6	－	3	鹿嶋市	我孫子	2 － 8	竜ケ崎	八千代中央v	5	－ 6	野田
E	39			44	ア			キ				
佐倉	船橋中央	0	－	7	佐倉	柏	24 － 1	牛久			－	
F	23			27	ソ			タ				
友部	水戸	7	－	0	なめがた	千葉西	3 － 2	友部			－	
G	19			22	オ			サ				
千葉北	千葉市W	4	－	8	千葉北	君津	4 － 17	千葉緑			－	
H	エ			コ	カ			シ				
九十九	茂原	6	－	13	千葉東	九十九	3 － 11	守谷			－	

準々決勝･敗者復活2回戦　　9月22日　　予定

グラウンド	第1試合			第2試合			第3試合
A	23		33	ツ		ホ	
ノーブルホームスタジアム水戸	水戸	－	常総	成田	－	野田	－
B	34		44	マ		ケ	
佐倉	浦安	－	佐倉	千葉南	－	市川	－
C	ソ		ト	ス		コ	
竜ケ崎KK	千葉西	－	竜ケ崎	常陸太田	－	千葉東	－
D	1		6	ヒ		シ	
取手	取手	－	鎌ヶ谷	四街道	－	守谷	－
E	12		22	イ		モ	
千葉北	八千代中央	－	千葉北	松戸	－	千葉市	－
F	ア		セ	ナ		ネ	
柏	柏	－	香取	つくば中央	－	船橋	－
G	ハ		フ	ム		サ	
なめがた	茨城	－	匝瑳	なめがた	－	千葉緑	－

(Ver.9.0　　2022/11/12)

＜様式 A＞　※試合毎の投球数は、様式 Bより転記する。

投 球 数 確 認 シ ー ト

【本部提出用】（試合終了後チームで保管）

大会名 ：2024年 王道家杯東関東支部秋季大会　　チーム名 ：

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																	
試合月日		／	／			／			／			／			／		
対戦相手		VS	VS			VS			VS			VS			VS		
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
1		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
2		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
3		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
4		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
5		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
6		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
7		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
8		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
9		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
球場責任理事（役員） 確認サイン																	
球場責任審判員 確認サイン																	
監督 確認サイン																	

注）打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を(　)外、実際に投じた投球数を(　)内に記入する。

【投球数制限】

①１日最大**90**球以内とする。
②連続する2日間で**130**球以内とする。
③3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を**90**球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も**90**球以内とする。なお、3日間の投球数合計を**130**球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
④上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
⑤大会中は1日**90**球投球後、翌日投球を休めば3日目は**90**球の投球可能。
⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
⑧万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。
⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

①試合終了後、**投球数カウント係が記入した本シート（原本）に球場責任審判員がサイン**後、球場責任理事（役員） 及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
②監督は、サインされた本シート（原本）を次の試合まで保管する。
③監督は、次の試合開始前に本シート（原本）とコピー2部を大会本部へ提出する。
注）連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
④鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

(Ver.8.0　　2022/9/12)

＜様式 B ＞（1試合用）　投球数確認シート　【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 :2024年 王道家杯東関東支部秋季大会　　チーム名 :

試合日 :　　年　　月　　日　（第　　試合）　　球 場 名 :

＜ 記 入 例 ＞　※上段：投球数を正の字で記入　※下段左：その回の投球数　※下段右：累計の投球数

背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1	日本　一郎	90 (92) 球	正正正	正正正Ｔ	正正正正	正正正正	正正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注）五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記 入 欄 】

	背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
2			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
3			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
4			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
5			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

注）打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を(　)外、実際に投じた投球数を(　)内に記入する。

【投球数制限】

①１日最大**90**球以内とする。
②連続する2日間で**130**球以内とする。
③3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を**90**球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も**90**球以内とする。なお、3日間の投球数合計を**130**球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
④上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
⑤大会中は1日**90**球投球後、翌日投球を休めば3日目は**90**球の投球可能。
⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
⑧万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。
⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

①様式 B ´やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
②試合終了後、責任審判員が保管する。